

## 第5章 山陰本線（城崎温泉～香住）

2020年7月29日（水）から8月7日（金）までの9泊10日の山陰本線を軸とする旅（兵庫・鳥取・島根・岡山：営業キロ204.7km）は、天や神のご加護もあり、8月7日無事閉幕する。今回もお蔭様で全駅舎立ち寄りに成功すると共に、当初予定していた区間を100%踏破でき、達成感で一杯となった。また、真夏のウォーキングやコロナ感染と悪条件の中、有言実行でき嬉しい限り。これで通算営業キロは、1万1千307km（活動回数552回）となった。また、“全国鉄道つたい歩き”達成まで長崎県のみとなった。今回の旅は、次の通り色々盛り沢山の旅であった。



①山陰本線（京都～益田）を乗り鉄と歩き鉄の二刀流で楽しむ。このうち、歩き鉄の区間は城崎温泉～香住（22km）、鳥取～出雲市（154.3km）。今回の歩き鉄を通じ、まだ未踏破である胡麻～城崎温泉、香住～鳥取、出雲市～益田の区間を下見することができた。

山陰本線（京都～鳥取～益田～下関）は、日本の本線の中で最も長く、全長677.3kmもある。因みにその区間は、京都～鳥取（230.3km）、鳥取～益田（284.2km）、益田～下関（162.8km）から構成される。このうち、今回の歩きを通じて、山陰本線の踏破営業キロは223.4km（約33%）となった。改めて、山陰本線の長さとお奥深さを痛感した。

②フコク生命時代の友人と出雲・松江で十年振りに、観光・会食と終日にわたり、旧交を温めることができ最高の日となった。

③復路の道中を通じ、山口線（益田～津和野～山口～新山口）を乗り鉄で下見することができた。同時に、山陰本線と連結する山口線をはじめ、伯備線や因美線など将来踏破したいと思う鉄道沿線を学習できた。まさに”どこまでも続く鉄道よ”である。日本の鉄道の緻密なダイヤや蜘蛛の巣のような鉄道網に改めて感服。この素晴らしい財産を子々孫々と引き継いで欲しいものだ。



※クマゼミと対面！！赤穂線の車中で

④復路の道中を利用し、35年振りに宇野線の風情を楽しみながら、宇野線（宇野～茶屋町：17.9 km）を踏破する。加えて、何時か踏破したいと思っていた赤穂線の旅が実現できた。特に、二十代の若い頃、麻雀で偶然にも”天和”（てんほう）という珍しい役満（親の配牌での上がり）を上がった。この役満は、技術力は全くいらぬが、聞くところによると、確率統計的にホールインワンより難しいとのことだった。この活字と同じ駅前が赤穂線にあることを、十年前の山陽本線の踏破の際（相生～三石）、インプットされた。それ故、この駅舎をいつか立ち寄りたいたと考えていた。今回、その夢が歩き鉄ではないが、乗り鉄で達成でき感激も一入だった。



※赤穂線の車中より

## 第1節 旅プラン

山陰本線の旅 (204.7 km)

(兵庫～鳥取～島根～岡山～兵庫)

○7月29日(水) 曇り

ひかり 639号 (12号車2番E席) 新横浜 10:51 → 京都 13:12

きのさき 7号 (2号車2番D席) 京都 13:25 → 城崎温泉 15:50

城崎温泉泊 (しのめ荘 : 0796-32-2411:23号室)



○7月30日（木）晴れ

城崎温泉～竹野～佐津～柴山～香住（営業キロ 22 km:万歩計 44,538 歩）

香住 16:46 → 浜坂 17:11

浜坂 17:19 → 鳥取 18:10

鳥取泊（鳥取駅南口東横イン：0857-36-1045:709 号室）



○7月31日（金）曇り／晴れ → 山陰本線後編のため記載割愛

鳥取 5:26 → 赤碕 6:47

赤碕～八橋～浦安～由良～下北条～倉吉～松崎～泊（32.4 km:60,194 歩）

泊 16:41 → 鳥取 17:20

鳥取泊

○8月1日（土）晴れ → 山陰本線後編のため記載割愛

鳥取 8:04 → 泊 9:06

泊～青谷～浜村～宝木～末恒～鳥取大学前～湖山～鳥取（28.6 km:67,719 歩）

鳥取泊

○8月2日（日）晴れ → 山陰本線後編のため記載割愛

鳥取 5:26 → 赤碕 6:47

赤碕～中山口～下市～御来屋～名和～大山口～淀市～伯耆大山～東山公園～米子（31.7 km:51,864 歩）

米子泊（米子駅前東横イン：0859-36-1045:1301 号室）



○8月3日（月）晴れ → 山陰本線後編のため記載割愛  
米子～安来～荒島～揖屋（いや）～東松江～松江（28.9 km：50,334 歩）  
松江泊（松江駅前東横イン：0852-60-1045:1109 号室）



○8月4日（火）晴れ → 山陰本線後編のため記載割愛  
松江～乃木～玉造温泉～来待～宍道～荘原～直江～出雲市（32.7 km:57,456 歩）  
出雲泊（出雲市駅前東横イン:0853-24-1044:301 号室）



○8月5日（水）晴れ → 山陰本線後編のため記載割愛  
立久恵狭、出雲大社、宍道湖（遊覧船）の観光など  
出雲泊

○8月6日（木）晴れ → 宇野線のため記載割愛  
スーパーおき1号（1号車8番D席） 出雲市6:49 → 益田8:52 → 新山口10:39  
さくら546（4号車10番D席） 新山口11:19 → 岡山12:37  
マリンライナー31号 岡山12:42 → 茶屋町12:55  
茶屋町13:11 → 宇野13:34  
宇野線：宇野～備前田井～八浜～常山～迫川～備前片岡  
～彦崎～茶屋町（17.9km:39,438歩）  
マリンライナー56号 茶屋町19:19 → 岡山19:53  
岡山泊（東横イン岡山駅東口：086-224-1045:1003号室）



○8月7日（金） 晴れ → 山陰本線後編のため記載割愛

岡山 7:21 → 播州赤穂 8:37

赤穂線： 播州赤穂～坂越～西相生～相生（10.5 km:26, 220 歩）

ひかり 510 号（12 号車 10 番 E 席） 相生 12:53 → 新横浜 16:24

## 第2節 心温まるメッセージ

山陰本線後編で対応

## 第3節 1日目：7月29日（木）：城崎温泉駅への移動 晴れ

2020年7月29日（木）、山陰本線の旅の皮切りは、自宅から城崎温泉までの乗り鉄と城崎温泉で外湯を楽しむ。新横浜を10時51分発の”ひかり639号”で京都まで移動する。新幹線の中は、コロナの影響もあり12号車の車両には殆ど乗客はいなかった。京都から”きのさき7号”に乗り継ぐ。乗り換え時間が13分しかないので、手際よく、新幹線から最も離れた在来線の山陰本線のホームまで移動する。何とか8分位で移動できる。指定席の2号車には、私以外に4名の乗客がいるのみでガラガラの状態であった。コロナの影響とは言え、寂しい限りであった。



※新横浜駅



※京都駅

城崎温泉は今年に入って2度目であるが、京都、福知山、豊岡、城崎温泉と山陰本線を辿る経路は初めてだった。それ故、福知山から和田山、八鹿、江原、豊岡と将来の歩き鉄の旅を想定し、車窓から下見する。福知山から和田山までは、胡麻から綾部までと同様山間が続き、「歩きには相当苦勞するなあ」と察知する。” 宿泊先をどこにするか”、” どちらの方向から踏破するか” がネックになると学習できる。和田山から城崎温泉までは概ねフラットであったので、易しく感じた。



※和田山駅、八鹿駅



※江原駅、豊岡駅



そんなことを考えているうちに、城崎温泉に到着する。城崎温泉で下車する乗客は、20名位と寂しい風景であった。城崎温泉駅に面した円山川は先日の大雨で水位が相当あがり、堤防まで肉眼で1m位となっていた。駅通りを通り、地蔵湯橋を渡り、本日宿泊する”しのめ荘”に16時過ぎに到着（所要時間10分位）する。手洗いと検温をして、チェックインとなる。聞くところによると、本日の泊まり客は私を含め5名とのこと。



※円内川、城崎温泉駅



※城崎温泉駅からホテルまでの道のり

食事を18時半とし、前回雨で外湯が楽しめなかったリベンジをする。今回は天気にも恵まれ、生まれて初めて城崎温泉の目玉である”外湯めぐり”を夕食までの時間を活用し、楽しむ。この外湯は、①さとの湯 ②地蔵湯 ③柳湯 ④一の湯 ⑤御所の湯 ⑥まんだら湯 ⑦鴻の湯 と7つある。このうち、今回利用させてもらった外湯は①と②である。その他の湯はまだまだ城崎温泉に立ち寄る機会があると思われるので、その時は是非利用したいものだ。



※地蔵湯、さとの湯

外湯めぐりの2番目の駅前のさとの湯で、宝塚からやって来たという佐藤・山岡親子と露天風呂の中で、15分位雑談する機会を得る。その中で”全国鉄道つたい歩き”を話す機会を得たのでPRさせて頂く。これまでの苦労が一気に吹っ飛んだような心境になると同時に明日へのエネルギーをもらったような心境にもなった。楽しい時間であった。御礼を行って別れる。



※美味しい料理で乾杯！！

さとの湯のあとは、ホテルに戻り、美味しい料理と美味しい地酒を頂き、旅行の第一目は閉幕となる。

#### 第4節 2日目：7月30日（木）：城崎温泉～香住 晴れ



##### ※しのめ荘の朝食

2020年7月30日（木）晴れ、山陰本線の旅の第2弾は、城崎温泉駅から香住駅までの営業キロ22kmに挑戦する。ホテル8時過ぎにチェックアウトし、ホテルから10分先にある城崎温泉駅（8時14分）に立ち寄ってから竹野駅を目指すことにする。山越えや海岸線の歩きため、営業キロ22kmに対し、8時間の所要時間を要した。各駅舎の立ち寄り時刻は次の通り。



##### ※しのめ荘

城崎温泉（8:14）～竹野（10:32）～佐津（13:30）～柴山（14:30）～香住（16:16）



※城崎温泉、温泉街



※一の湯、三柱神社、城崎中学校



※ときわ別館、山間を歩く

①城崎温泉の風情を楽しみながら、県道9号線をキープし、竹野駅を目指す。途中、外湯の一つで一番人気の「一の湯」があった。8時30分、山柱神社で本日の安全を祈願する。豊岡市立城崎中学校と目と鼻の先に、本年1月家内と一緒に宿泊した”ときわ別館”（8時40分）があった。8時50分、竹野市街6kmの看板を目にする。この境界の車のナンバープレートは姫路となっていた。8時55分、山間の中から電柱のない線路を見つけ、安堵する。9時3分、湯島跨線橋を横切り、鉄道の右側となる。9時34分、鋳物師戻峠に到達。その先に鋳物師戻トンネル（280m）があり、トンネルを出ると下

り坂になる。10時10分、万歩計で169歩ある阿金谷橋（竹野川）を横切る。阿金谷踏切と竹野東踏切を横切った先に竹野駅があった。



※阿金谷橋（竹野川）、阿金谷踏切、竹野東踏切



※竹野駅、はさかり岩



※須井トンネル、風光明媚な海岸線

②竹野駅から香住駅までは、風光明媚な海岸線と山登りを併用しながら進む。これからの海岸線は、山陰海岸国立公園となっており、随所に名所旧跡があった。11時、切浜海水浴場の看板前に到達。しかし、海水浴場シーズンのたけなわにも関わらず、コロナの影響で人の気配は殆どなし。寂しい限りであった。一日でも早く終息してもらいたい

ものだ。11時12分、須井トンネルの界隈にあった、天然記念物”はさかり岩”前を通過。自然の造りと思えない岩に感動また感動。



※頭上に鉄橋、山間から眺める海岸線、安木バス停（安木）

③11時33分、豊岡市から香美町（兵庫県）となる。ここから、海岸線から山道となる。鉄道の線路を何度か横切りながら進む。12時8分、万歩計で100歩ある相谷トンネルを通過する。12時27分、下り坂となる。13時18分、124歩ある佐津川橋（佐津川）を渡る。13時26分、佐津踏切を渡った先に佐津駅があった。200～300m位、行き過ぎていた。



※佐津川橋、佐津踏切、佐津駅

④13時45分、鳥取69kmの道路標識を目にする。14時2分、245mある柴山トンネルを通過。トンネルの中は、火照った体を癒してくれた。14時23分、丹生大神社に遠くからお参りする。14時30分、柴山駅に到達。駅前の狭い道筋にも関わらず、大きなホテルがあるのにはビックリした。



※柴山駅



※香住駅への路

⑤地元の方から、柴山駅から通り抜けができるという情報を聞いたので、引き返すのではなく、前進する。14時36分、鉄道下を潜り、鉄道の右側に出て、県道11号線に合流する。15時16分、68mある今子トンネル前に到達。香住の街並みが見えてくる。15時37分。一本松南交差点で頭上に鉄道を見つける。ここから、鉄道の右側をキープして、香住駅を目指す。何人もの地元の方に教えてもらいながら、くねくねした道筋を進む。本来ならば、夏休みで小学生児童には会うことはないのにもかかわらず、今年はコロナ影響で特別で、海水浴場に引き続き、異常事態の場面を目にする。やっと16時16分、香住駅に到着する。何とか16時46分発の列車に間に合いホッとする。本日は時間との戦いでそれなりにプレッシャーもあったが、これまでの20年余の体験（慌てず騒がず）が大きな援護射撃となった。



※今子トンネル、遠くに香住の街並み、香住駅近し



※香住駅

⑥香住から鳥取までは、乗り鉄を楽しむ。浜坂界限と東浜から福部にかけては平野であったが、その他は山間が続いていた。“これらの区間も歩きには相当苦勞するなあ”と察知する。そんなことを考えているうちに、鳥取駅に到着する。鳥取は高校時代伯耆大山登山や鳥取砂丘観光以来2度目である。遠い昔の7月30日、7月31日の1泊2日の旅行を思い出す。因幡の白兔前を通過し、東横インへ。一風呂浴び、ホテルで紹介された手造り味処”くさかべ”で祝杯をあげ、本日は閉幕となる。



※香住～浜坂までの車両、浜坂からの車両





※鳥取駅



※因幡の白兎、くさかべで祝杯！！